

● 小山乃里子ノコちゃんの

華麗なる食べある記

△75▽ ロシア料理 バラライカ

△76▽ 家郷菜村 天外天

□ バラライカ

★昭和25年にオープン。本格派ロシア料理。

なつかしい、青春時代の思い出がいっぱいつまった店である。ロシア料理というものを(も)とも当時、もう十五、六年前のことであるが、あまりお金もなかったゆえ、ボルシチとピロシキが唯一の知っているメニューだった(けど)初めて教えてくれた店である。

昭和二十五年にスタートした時は、ロシアという名前に拒絶反応があつて、相当苦勞もあつたらしい。社長の田部さんがハルピンでお生まれになった関係で、小さい頃に味わったあのおいしい料理を、なんとか神戸で再現できないものか、とバラライカができた。昔はもつと小さく、ゴチャツとした感じだったのに、ある日久し振りに訪れたら、ずい分きれいになっていてびっくりしたものだ。ただ、今の店になつてもう十四年目というところだから、通いつめていたのは、アナウンサーになりたての頃らしい。

なじみのピロシキ、熱いのかぶりつく。やはり街で買って帰るのは一味も二味もちがう。クレープを巻いて揚げたピロシキのかつのような、ピリンチキピロシキ

もいただく。つば焼き。信楽焼きのかなり大きなつばに、きのこのようなパンがのっかっている。パンを手ではずし中をのぞき込むと、ゴロゴロと肉、じやがいも、人参などがいい味に煮込まれてつまっている。それをお皿に取り出し、パンにはさんで食べる。おいしかった。今、

本国でこの料理が人気があるそう。ロールキャベツ(ガロヴィッツイ)。じっくり煮込んで、キャベツと中のミンチが一体になっている。やわらかくてとろけそうだ。シヤシリツク・モスコフスキー。いかにもロシア料理らしいメニュー。これは何かといえば、牛ロースの串やき。かなりのボリュームだから、二人で一皿でいい。

ここで人気のあるメニューとしては、カツレタというのがある。ちなみにどんなものですか、と問えば、やがて目の前にドーン。普通のかつれつを想像すると大まちがい。ハンバーグを丸いだんご状に(それも大の男のにぎりこぶし位)したものを、からつとパリツと揚げてある。それが、一つ、二つ、三つ。肉ボール入りのペリメニスープ。一見水きょうざ風、これはあつさりしている。名物ボルシチを食べなきや、とがんばつちやみても、じやがいも、人参がゴロゴロとスープの中に浮かんでいるのを見ては、半分食べるのがやっとだった。メニューを見ていると、前菜だけでも18種、サラダ、スープ、一





上左/ジャルウィ・ガルショク 上中/ピロシキ 上右
/ボルシースープ 中央/シャシリック・カフカースキー
下左/ガロヴィツィ 下右/ペリメニスープ

本格派ロシア料理を日本に広めた田部一幸さん

品料理、ずらりと並んでいる。

いつかはモスクワにも行ってみたいと思っているが、
ここの味に慣れてソ連に旅すると、みんながっかりして
帰ってくるとのこと。今から覚悟しとかなきゃあ。

ジャルウィ・ガルショク/1500円 シャシリック・カフカースキー
/1500円 ガロヴィツィ/1200円 ボルシースープ/800円 ピ
ロシキ(2ヶ一皿)400円 定食/特A/5000円 特B/4000
円 A/3000円 B/2000円 C/1200円
神戸市中央区北長狭通1丁目10-3 電話331・7919 平日/正午
午後2時 午後4時/10時 土・日・祝/正午/午後10時 火曜休(祝日
の場合は翌日)

□天外天

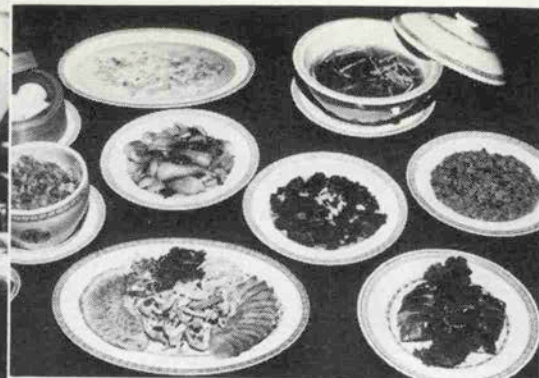
★素朴な中国家庭料理の一品、なんと百数十種。

まだ、ポトビアの熱気がそこここにただよっていた
去年の九月二十五日、天外天ポトビア店がオープンし
た。ポトライナー中公園駅でおでつぐの、ポトア
イランドビル十一階、北から南まで百八十度の展望が素
晴らしい。夕暮れと共に、さつきまで見えていたおびた
だしいコンテナが薄暮の中に姿をかくし、あとには三宮
から須磨、淡路島の街のあかりと、時折白く光る波頭。

景色に見とれてはいられない。さつき入口の所にぶら
さがっていたものの、色々あったなあ。豚の腸づめ、にわ
とりが炭焼きにされたもの、きもの腸づめ、あひるの
のせんべいみたいなものは、ラア、というのだそうなの。
あひるのくんせい。店の中のガラスケースには、菜村の
名の通り、野菜が色々並べてあった。大きな水槽には、
はまち、鯛がゆらゆら。わたりがにが底にひっそり。

青梅の砂糖づけを浮かべた招興酒をいただくながら、
料理に取り組む。今日は三千五百円のコース。

まず前菜。はまち、豚の胃袋、もののしょうゆだし、
それぞれが、しょうがの細切り、いんさい、ねぎの上に
のっけて、それを一緒につまむ。たれは、おしょうゆ
にピーナッツオイルをミックスしたもの、好みでラーチ



コース料理お一人様3500円コース（写真は6人分）

ポर्टアイランド店長は女性、岡島由さん。

チョン、からしなどを加える。スープは季節の野菜（えのき、ねぎ、しいたけ、ほしえび、はるさめなど）、あつさりした中にこくがあつて実にいい味だった。デリカテッセン三種（あひる、わかどり、焼豚）をつまんでいたら、ほかほか湯気の出ている饅頭、このまま食べてもよし、くりくりとむいて中に何かつめてもよし。私は焼豚といんさいをくるんで食べた。スルメと豚ミンチ蒸し、お好み焼き風で、ねぎが上にバラツとのつかって、あつたかいうちにいただく。

レタスのボイル。大体レタスなんて生で食べるものだと思っていた。ボイルされたレタスにたれがかかっている、これが又、しゃりしゃりとした口当り、歯ざわり、いくらでも食べられるおいしさ。骨付バラ肉のブラックビーンズ蒸しは、肉がしんなりやわらかい。豚といったけのむしごはん。釜めしの感じで、ふたを取ると香ばしいにおいが、もうまんぷくのはずの胃と腸をしげきする。乳腐という発酵豆腐、ちよつとブルーチーズのような味で、ちよつとつまんではお酒を飲む。ようやくデザート、と思いきや、なんと海老入り卵むし茶碗むしが大きな皿に盛られているという風情で、見た目もきれいだし、おいしかった。デザートは甘い点心、ココナッツのパイや月餅などお皿に盛られたが、もうとても手の出せる状態ではない。お帰りに使った木のはしを持ち帰って下さいとのこと。軽くてきれいなおはしをハンドバッグに入れる。

値段もてきとう、ポリニウムたっぷり、そしておいしいという点で、忘年会、新年会の場所を捜していた人に三人程教えてあげたけど、みんな満足したんじゃないかなあ。

甜点心／700円、威点心／3000円、飯と麵／4500円、デリカテッセン／3000円、肉料理／10000円、鳥料理／12000円、魚介料理／12000円、豆腐・卵料理／6000円、野菜料理／8000円、スープ／7000円、コース料理（2名様以上）／お一人様2500円、ポर्टアイランド店／中央区港島中町4丁目、神戸ポर्टアイランドビル11階、電話30211010、午前11時～午後9時、無休
元町店／中央区三宮町3丁目517、電話33210039



自走式立体モータープール

ビジネスに！
ショッピングに！
ご利用ください



- 収容台数 300台
 - 月 極 駐 車 可
 - 年 中 無 休
- (8:00AM~11:00PM)



磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873

★神戸の集いから

★「日本の空襲」10巻完成に

全国の「記録する会」集う
各地の空襲被災を記録する
会が協力して「日本の空襲」全10巻（三省堂）を刊行。戦争を知らない世代に反戦のエネルギーを継承させようという地道な運動の集大成を記念し、神戸空襲を記録する会（君本昌久代表）の主催で出版記念パーティが12月5日ひょうご共

済会館で開かれた。

洋戦争に突入して40年目のこの日、全国各地から参加の戦災語り部たちが



全国各地から参加の戦災語り部たち

代表が

参加。第一部は君本さんの司会で、それぞれの地域代表が編集の経過などを報告。早乙女勝元、今井清一さんらより教科書から戦争の悲惨を強調した記述が姿を消すなど大きな臭い世情に警鐘を鳴らす発言が相次いだ。また来賓として地元神

戸市から伊藤収入役が宮崎市長のメッセージを携えて参加。松浦総三さんの力強いまとめと「今後もある」という沖縄代表のアピールの後親睦パーティに。

睦会だが、この日は他地域のJJCメンバーも招待し、角南猛夫さん（角南商事社長）の発声で乾杯、和やかな歓談と余興がつづいた。

OBでは浅井二郎、片山開、木下健、江原慶彦、塩見昭一、下村光治、玉井新吉、鳥井達夫、田中教義、西宮章泰、浜田武志、福井健、藤田久司、森田義明、木下章夫さんら30名が出席し、旧交を温めていた。

★神戸JC「東雲会」が10周年を迎える

神戸青年会議所（JC）東雲会が昨年10周年を迎え12月4日夜、神戸風月堂ホールで記念パーティが行われた。同会は東灘区在住の神戸JCのメンバー87名で



あいさつをする構本会長

構成され、会長は構本久さん（構本汽船社長）。

「規約も何もない会で、今までは東灘の飲み屋でやっていたが10年目なので神戸のド真中に出て来た。飲んで騒いでガヤガヤやるのが好きな連中でスタートした」（構本さん）という親

♥小泉パーティご案内

小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

神戸マリッジへ（無料）

楽しい結婚礼のお買物をご予算に応じてプランニングし、神戸の一流の専門店をご紹介します。

＜協賛店＞

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき
紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや
旅行の日本旅行・他各様の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は
事務局 〒650 中央区江戸町100 高砂ビル510
コミュニティサービス内 392-0200 小泉正巳

★神戸JC「東雲会」が10周年を迎える

昨年クリスマスパーティの夜。神戸ポルトピアホテルのコスモポリタンルームで音楽と舞踊の集い日本ネオ・トロピカル協会（森美代子会長）の神戸支部が、ク

士淑女が集った。新井宗平さんの司会で、どんぐりコールの聖歌、愛田洋子にザ・コンパスの演奏などにつけて踊る人達。東京から駆けつけた新井満さんも、小椋桂作詞の新作「髪」を初めて紹介。チャリテイタイムの売上金を家庭看護促進協会へ寄付する等、楽しく有意義なパーティだった。



ネオ・トロピカルに集う

リスマ
スパー
ティを
開き、
中内力
長島隆
松井一
郎、鬼
塚喜八
郎、畑
崎廣敏
氏ら80
名の神

△その79▽

阪急六甲駅―ケーブル・ロープウェイ経由―有馬温泉

・六甲山100ノース

よい子よい子有馬の子

桑島 玄二 △詩人▽



ロープウェイ・カンツリー駅にて筆者

「六甲山登山は神戸市民にのみ許された特権だ」と、当時横浜市長だった飛鳥田一雄がうらやましがったという「人口百万人以上の大都市で八思い立ったら一時間で山の中へは確かに神戸だけの話だ」と、いつか朝日新聞神戸版に書かれていた。

あの戦争も終わりに近づいた昭和十九年、私は生地 of 香川県から宮崎県へと急いでいた。いま宮崎空港になっているが、陸軍対空通信隊がそこにあって、入営のためである。少年のころから詩を書いていたが、まだ旧制の神戸高商生だった中桐雅夫が、神戸から「LUNA」という詩誌を出しており、私はその誌で詩作の味をおぼえたようなものだ。ここに集った中桐、鮎川信夫、田村隆一らが中心となり、敗戦後まもなく「荒地」を出して、戦後詩を大きく動かしていくのだが……。こうして

『LUNA』から、私は神戸の街にとくべつの親近感をもっていた。

いま、私をのせた列車は神戸の市街を通過する。そしてその背後に六甲山は、標高八百メートル、東西四十キロにわたって連なっていた。翌二十年のはじめ、私はふたたび車窓から六甲山を眺めていた。経理部幹部候補生として東京へ移る途中である。しかし、六甲山の前の神戸の街は、空襲で瓦礫と化してしまっていたのであった。

昭和二十五年、芥川賞を受賞した井上靖の『闘牛』に、六甲山を描いてつぎのような個所がある。「六甲山の山麓近い箇所のあるところに、雪が白く幾条かの線を引いて残っていた。……敗亡のこの国からすっかり姿を消した清らかなものが、落ちのびてそこだけ集り、互いに寄り添ってひそひそと何かを語り合っているように思えるのであった」

その頃、私は結婚して尼崎市に住んでいた。ようやく安定した職業を得た記念にもと、皮の手提げ鞆を購入するため、夫婦連れだつて三宮高架下へ行った。当時そこでは、皮革類も格安で手に入るといわれていたからだ。おなじ頃結婚して、逆瀬川の伊和志津神社近くにいた妹も同道した。

買物の方は早くすんだので、帰途、六甲山に行つてみようということになり、阪急六甲駅でおりた。戦争末期、

暗い国策映画の上映が続くなかで、『新雪』はみずみずしい抒情をスクリーンいっぱいにひろげてくれた。宝塚の月丘夢路は、これで一躍映画スターになるのだが、彼女がこの六甲駅の踏切りで、電車の行きちがいを待つシーンがあった。そのときチーン、チーン、チーンと警笛

が鳴り響き、庶民的風物を象徴するようなその音が、軍隊にいてなつかしかった。

六甲の山頂で、妹はスキの穂などを手折りながら、「白鳥の山とそっくりや」とつぶやいていた。私たちの故郷は白鳥町といい、海へ五分、山へ十分のところにあった。「ここを越えると有馬温泉かあ」と、彼女は遠くを見やるように言う。故郷に残してきた母は、有馬の湯に入るのを夢にしていた。それともついに果たせないまま、三年前にこの世を去っている。

その後、私は六甲から有馬へと、何回も往復することがあった。伊和志津神社の神主、野木良郎さんの口ききで、有馬幼稚園の園歌を足立巻一さんと一緒に作ることにになり、その取材をしたのだが、単独のときは、もっぱら阪急六甲からバス、そしてケーブル、ロープウェイにしたのは、そうした思い出があるからである。園歌はつぎのとおり。作曲は六甲音楽院、鈴木洗さん。

つくしんぼ　つくしんぼ／さくら　風　春／坂の道
なかよしみんな　通る道／よい子　よい子　有馬の
子／たのしくうたおう　有馬幼稚園
つばめのこ　つばめのこ／青葉　滝　夏／あおい空
なかよしみんな　見てる空／よい子　よい子　有馬
の子／元氣にあそぼう　有馬幼稚園
どんぐりこ　どんぐりこ／もみじ　秋　冬／古いお
湯　なかよしみんな　育つお湯／よい子　よい子
有馬の子／どんどん伸びゆく　有馬幼稚園

例えば、子どもは物をほしがるとき、「これが欲しいから、買ってね」と、くどくどしく言わない。「これ」と指すだけである。このような子ども特有の表現を、私はこの歌にこめた。神戸市立として最小の幼稚園で、発表会当日の有馬の子たちの、動物のようにいきいきとした眼を忘れない。

有馬幼稚園には筆者の思い出が残る

六甲山100コース

〈その80〉
第七回六甲全山縦走

つらかったが、今年も

西村

功〈洋画家〉



全縦初参加の筆者

の前にも同じコースを通過してアゴニー坂から徳川道——市ヶ原——新神戸へ戻るコースを歩いて来た。今度の大会は大丈夫、自信があると樂觀していた。しかし全山を縦走することが、こんなにきびしいものだとは、歩き通してみ始めてわかった。とてもつらかった。歯をくいしばって頑張った。

東六甲縦走路分岐点でチェックの印を押してもらった後のコース（宝塚駅までのコース）が一番つらかったと思う。坂にどろどろとした水が流れる。すべる。水たまりの道、雨にぬれている木の根や石ころの間の細い道、腰をおろして休憩するどころでなかった。外は夜まっくら、急な高い山、急な坂がどの位あったことだろう。懐中電灯をひたいにつけて前の方を照らしながら並んで歩いているさまは、何だか異様に見えたのではないかと思っただが、皆疲れているからであらう、お互に眺めるどころでなかった。すぐ前に人が、すぐ後ろに人が、長い隊列をつくって並んでいるから、立ち止まることは出来ない。誰もがしんぼう強く歩いているのだ。

まだ夜明けぬうす暗い朝五時一〇分須磨浦公園をスタート、ようやく宝塚駅に着いたのは、夜八時二十七分。途中、雨と霧のひどい中を十五時間二十分、歩いたことになる。

その前に練習として、鴨居玲君たちと新神戸駅から布引滝、貯水池の前を通過して市ヶ原——天狗道——摩耶山——アゴニー坂——六甲山ゴルフ場——大平山——塩尾寺——宝塚駅の約三十キロメートルを約七時間、六甲全山縦走コースの約半分を登り降りして来たのだから、(そ

摩耶山上で飲んだあついレモン水が、本当にのどをうるおしてくれておいしかった。摩耶山を守る会らしい方々が、テントを張って、もてなしてくれたのである。水とうにも入れてくれた。おべんとうは、二食のおにぎりを持って行ったが、一食しか食べられなかった。緊張し



大竜寺山門前で一息を入れる。左の写真は今回も全縦にチャレンジした鴨居さん。

過ぎて、食べる、一服するゆとりがなかったのかも知れない。

ようやく、宝塚駅に着いた時のあの感激は、忘れられない。家に帰りついて、先ず一番に「もうこりこり」「もういやになった」といったが、後日又来年も参加したいという気持になったのは、どうしたことだろうか。やはり、自分の体力のぎりぎりに挑んで、やりとげた、という満足感をもう一度、味わいたいという気持が強いようだ。あるいは、人間は苦しいことはすぐに忘れるということかも知れない。

六甲全山縦走コースには、いろいろな山脈、変化のある地形、四季のいろどり、海が見られるようになってから、全コースを通して歩かなくても、レクリエーションのつもりで部分のコースを、時々登りたいと考えている。勿論、今年の縦走大会のトレーニングも、かねてという心つもりである。

トレーニングといえば、実は四年位前から、週一、二回、東灘区立体育館へかよっている。鴨居君にさわれてついでに行ったのが始まりだが、一汗流した後のさわやかな気分が、病みつきになり、殆んど休むことなく続けている。

今度の六甲全山縦走大会で、六〇代の人たちが若い人たちより、早く完走して着いていると、新聞で知った。やはり、その年代の人たちは、若い時の鍛え方が違うのだろう。今の若い人たちは、車を運転している人が多く、足を鍛えることを忘れているのではなからうか。今は何でも便利になって結構なことだが、このままでもいいのだろうかと思ってみたりする。

●神戸を福祉の町に〈98〉

★インタビュー

今こそ福祉の改革を

本を出版した小室豊允さんに聞く

橋本 明 〈社団法人「家庭養護促進協会」事務局長〉



小室豊允さん

去る十二月十八日、生田神社会館に於て小室豊允さん（大阪府立大学社会福祉学部助教授）の出版記念会が開かれた。新しい著書は「福祉改革の思想と課題——アメリカ社会福祉法の研究」（新評論社刊）という難しそうな表題の本だが、小室さん自身は温和な人柄で親しまれている神戸っ子。長田区で生まれ育ち、兵庫高校から中央大学法学部へすすみ、卒業後立命館大学大学院で法律を学ぶ。「福祉が好きだったのと、好きな神戸から通えるところ」が条件だったので大阪府立社会事業短大を職場に選んだ。

一九七九年五月から一九八〇年の九月まで家族四人で渡米し、ニューヨーク州コネル大学ロー・スクールに客員研究員として一年半滞在。今度出版した本の原稿の大半は渡米中に書きあげたもの。「留学の成果の総まとめ」として本を出版した機会に「最近アメリカ福祉事

情」の一端をうかがった。

——今度の渡米で感じられたことは？

「私はアメリカで労働法と福祉法を研究していたのですが、私が学んだビクター・マーチン教授は、アメリカの社会福祉はこのままでは大変なことになる。これから福祉政策の科学化が必要だ、といっておられるのを聞いて大変強い印象を受けました。なぜなら、日本でも政策を科学化しようという努力などはほとんどなされていないし、科学性を持たない福祉は大変もうい福祉であると思うわけです。今の日本の福祉政策が本当に有効なものであるかどうかについては不安です。この本で述べたアメリカの「福祉改革」は福祉政策の科学化とその指標づくりをめざす改革案なのです。」

——老人福祉についても研究してこられたのですね。

「ええ、関心はもっています。アメリカに行ってから老人福祉についてのイメージがずいぶん変りましたね。

一週間に二度以上も子どもに会っている老人は七割もいる。また六十五才以上で働いている老人は二・七％しかない。年金水準は今が限度でこれ以上は財政上も上げられない。経済的な援助だけでなく、地域の中で老人を支えるいろんなつかい棒がこれからはもっとも必要になってくるでしょう。」

——日本がもっと学ぶべき点は？

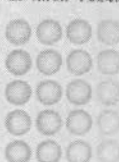
「もっとボランティア活動を育てていくことですね。ア

アメリカに住んでみると、ボランティアがいかに社会のなかに自然に溶けこんでいるかを痛感しました。私たち家族はイサカという人口二万人ぐらいの小さな町に一戸建の家を借りて生活していたんですが、住みはじめてすぐに、「ニューカマーボランティア」が訪ねてきました。これは、この町に新しく引っ越してきた人たちに、この土地のこと、すなわち地理や歴史や名所などをはじめ、いろんなことを紹介してくれるボランティアなんです。それに手書きの電話帳もくれて、そこには医者、警察、困った時の相談、緊急の場合の連絡先などいろんな電話番号が書いてある。大変助かったし、またよく利用もさせてもらいました。アメリカのボランティアは日本で考えるボランティアとはかなりちがうという印象をうけましたね。」

——コミュニティについての感覚も日本とはかなりちが

福祉改革の思想と課題

アメリカ社会福祉の歴史
著者 岡村幸夫 小室豊允



新評論

上・小室豊允著「福祉改革の思想と課題」新評論刊
2,000円

右上・生田神社会館で盛大に
催された出版記念祝賀会
右下・大阪社会事業短期大学
学長の服部正二夫妻と談
話する小室さん

小室豊允先生出版記念祝賀会



うのでは？

「日本ではコミュニティがはっきりしてませんね。長田区を指すこともあれば神戸市全体を指すこともあり、また地球コミュニティという言い方もされている。ところがアメリカにはみんなが共感できるコミュニティがあるんですね。日本にはまだ積極的なコミュニティ福祉は育っていません。これからの地域福祉はコミュニティのユニットをはっきりさせることが必要ですね。」

——他に感じられたことは？

「アメリカには実にたくさん民間福祉団体があり、それらが寄付によって支えられていることです。寄付は特別な行為ではないし、税金も免除されるようになっていく。日本でも民間福祉団体を育てようと思えば税制の改正をやらなければいけませんね。福祉というのは民間のエネルギーを活用していくことが大切なんです。今は福祉閉塞状況にある。ボランティアの育成やコミュニティづくりを通して福祉を支える風土を改革していく必要があるのではないのでしょうか。」

これからは財政も豊かではなくなってくるでしょうから、貨幣サービスによる福祉は限界がきますね。もっと精神的な充足を求める福祉が必要になってくるんじゃないでしょうか。」

小室さんの福祉論は熱っぽい口調でまだまだ続いている。が、紙面の都合で今回はこれまで。

小室さんが長い間かわってきた仕事の一つに「現代ながた大学」がある。文芸春秋にも紹介されたユニークなゲタバキでいける大学として知られ、長田区の多くの人に親しまれ、喜ばれている。

「黙々と生活している人たちは文化には無縁だと思われていましたが、機会があればみんなすごく熱心に関心をもち、意欲的にとりくんでいくものです」という「発見」もあった。カリキュラムは小室さんが中心になってつくっている。「ながた大学のエネルギーを基礎に新しい福祉の改革を」と小室さんは、意欲を燃やしつづけている。

兵庫の寺巡礼

編集部

神戸の原点である兵庫の街には古く由緒のある寺が多く散在している。人々の信仰の拠り所として、散策の場として、また文化財として街のあちこちに静かに佇んでいる寺の中から旧兵庫にしほって幾つかを紹介してみよう。

なっている。法華宗。

■福海寺（西柳原10）

足利尊氏が建立し開山した。本尊は釈迦如来、山号は大光寺南禅寺派。大黒天をまつり毎月10日は向いの柳原エビス神社とともに賑わう。臨済宗。

■恵林寺（兵庫2）

貞和2年、綿光和尚によつて開かれ本尊は十一面観世音菩薩。11月15日には禅宗の開祖である達磨大師の供養が行われる。臨済宗。



念仏塔（久遠寺）

■久遠寺（門口4）

浜の寺といわれ、昔はここまで海であったと考えられる。日蓮上人によつて開かれ、納骨所に使われる「念仏塔」が有名。毎年11月13日に日蓮聖人法要を行



薬仙寺

■薬仙寺（今出在家4）

天平18年に行基菩薩が山

陽道を下る途中に開いた。薬仙寺の名は後醍醐天皇の病がこの寺内の霊泉によつて治ったという言い伝えから来ている。薬師如来坐像、施餓鬼図はそれぞれ重要文化財。わが国最初の施餓鬼修法の寺で、8月8日から9日に4万6千日法要が行なわれる。境内には神戸空襲で犠牲となった人々の冥福を祈る慰霊碑もある。時宗。



清盛公800回忌を記念して復興された平相国廟（能福寺）

■能福寺（北逆瀬川）

805年、最澄が唐留学から大輪田の泊へ帰りつき、仏教を伝えた場所にある。初めは能福護国密寺といわれた。漁民の間で眼病が流行していたが、本尊の薬師如来を手を清めて拜むことで病気が直ったという話がある。仁安3年にはこの寺で清盛が剃髪、入道したと伝えられる。十一面観世音菩薩は重要文化財。戦前は兵

ORIGINAL
TABI

Tabifuku
タビ福

本店 塚本通3丁目 ☎575-8868
センタープラザ西館2F ☎332-3500
センタープラザ2F ☎332-2767
メトロこうべ・神戸タウン ☎341-0439
さんプラザ3F ☎391-3720



株式会社 タビ福
ローソン柳原店

☎576-0330



ポートピア81「ジャイアント」

パンタ 緩頭

六甲峰

株式会社

兵庫 するが屋

サンこうべ店・湊川店
本店/市バス柳原停前 ☎576-0790



世界の洋酒
世界のワインが
楽しめる

株式会社 北野商店

本店 兵庫区中道通1丁目4-31
TEL (078) 577-1181~3
山の街店 TEL (078) 581-2377
名谷店 TEL (078) 791-7171~2



バラエティ豊かな味づくりで
おいしさは必ずしも楽しい食卓づくり……



味づくりに生きる かねてつ

庫の大仏で親しまれたが、戦争で供出して今はない。神戸事件で切腹した備前藩士、滝善三郎の碑もある。天台宗。

■来迎寺（島上2）

別名、築島寺。清盛が経が島を築く折に童神のたたりを収めるために人柱にな

った松王丸をとむらい建立本尊は阿弥陀仏、山号は経島山。松王丸の石塔のほか平家の菩提を弔った妓王、妓女の塔もある。浄土宗。

■八王寺（羽坂2）

本尊は釈迦三尊、山号は延喜山。江戸時代、修業僧の格蔵が開いたが福原が近く格蔵自身も遊廓で遊んでしまったというエピソードが残っている。曹洞宗。

■金光寺（西仲2）

隆善法師の開基。山号は浄国山。本尊は海中出現と伝わる薬師如来像。真言宗

■本来院（門口4）

室町後期に示念坊聖人が開基。示念居士にまつわる井戸があるが詳しいことはわからない。法華宗。

■藤乃寺（兵庫1）

室町時代に音勢親上人が開基。山号は紫雲山、本尊は阿弥陀仏。兵庫の豪商北風家の菩提寺であり、同家が白藤姓を名乗っていたため藤の寺と呼ぶ。浄土宗

■福厳寺（門口）

花崗岩製の五輪塔があるが、長享2年に個人のために造られた墓塔としては市内最古のもの。臨済宗。

■真光寺（松原）

時宗の開祖として知られ



真光寺

る一遍上人が正応2年、この地の観音堂で没し、境内には一遍上人の廟所がまつられている。紙本著色遊行縁起は重要文化財。時宗。

■福厳寺（門口3）

南禅寺の末寺。後醍醐天皇が隠岐国から戻られる途中に、この寺を行在所とした。臨済宗。



●お好み焼
美丁 (よしちょう)



福原の金比羅宮を西に入ったところにあるのが31年の老舗を誇る美丁。

お好み焼といっても、材料、年季、焼き方ひとつで随分と味もちがってくるが、味にうるさい神戸の人が第一にあげる店がこの美丁である。遠方からわざわざこの店のお好み焼を食べにくるファンも数多い。あつあつのお好み焼、そば焼を口にしながら冷たいビールをというのが最高の楽しみ方。

カウンターの中に全員

坐っても20人くらい的小じんまりした店で、アットホームなふんい気。面倒見のよさそうなおばさんが腕によりをかけて焼きあげてくれる。焼きたてにさつとソースをつけ、てこで切りわけ口に運ぶ。気どりのない庶民の味、お好み焼が兵庫の街にはよく似合っている。

PM 3:10 ~ 3:30、水曜休。金土日はAM 11:30 ~ PM 10:30

慶びの家具



神戸市兵庫区塚本通2丁目1番1号
永沢町交差点 ☎078-575-3120
東店 ☎078-576-0054
毎週金曜日定休日

お好み焼

美丁
Yoshicho

福原金比羅宮西入ル ☎575-7913
平日・PM 3 ~ PM 10:30
金土日・AM 11:30 ~ PM 10:30
水曜日定休日



結婚式は

神戸平安閣

☎(078) 351-3390
高遠新開地駅東へ200米



安政2年創業
日持ちのする
甘納豆
甘納豆
甘納豆

本社 神戸福原口 ☎(575) 5536
直売店 神戸さんちかスイーツタウン
各百貨店・大阪梅田三番街・大阪、羽田
国際空港・阪急百貨店銘菓街・新大阪ステーションストア

愉快に、気軽に 今宵も飲もうよ

エバンス・ハウエル 岩屋 利昭 岩垣 敬介
 〈エシジニア〉 〈商社マン〉 〈セントハウス1F HUB〉



●イングランドパブ
 「HUB」
 ☎ 078 (392)1317
 営業時間 AM 8 ~
 PM 11 年中無休

●英国のパブにそっくり

岩屋 このハブは、英国のパブを真似てつくられたそうですが、本場イギリスのパブの話を……。

ハウエル 伝統的なパブというのは建物も非常に古くて、生ビールをよく飲みますね。そして、ラウンジとパブリックバーの二つに別れていることが多く、パブリックは男性専用になっています。

岩屋 どうして男性専用に？

ハウエル 主な理由は男性が、パブを始めたからで、それが伝統として残ったということでしょう。パブはダーツやカードやドミノゲームなどをしながら、飲み、騒ぎ、楽しむ場所だといえますね。

岩垣 ハブにはダーツもあり、お客さまに楽しんで頂いておりますが、ハブの雰囲気はいかがですか。ハウエル 楽しい感じで、非常にすばらしいですね。雰囲気も英国のパブに似ていますし、室内装飾

などはそっくりそのままですね。岩垣 うちの店は、今までになかった本場のパブそっくりの場所を提供しようと、三宮に第一号店を開いたわけです。インテリアもすべて英国から輸入しました。本場のパブのように、地域に溶け込んだコミュニケーションの場として利用していただきたいですね。岩屋 お客さまはどんな方が多いですか。

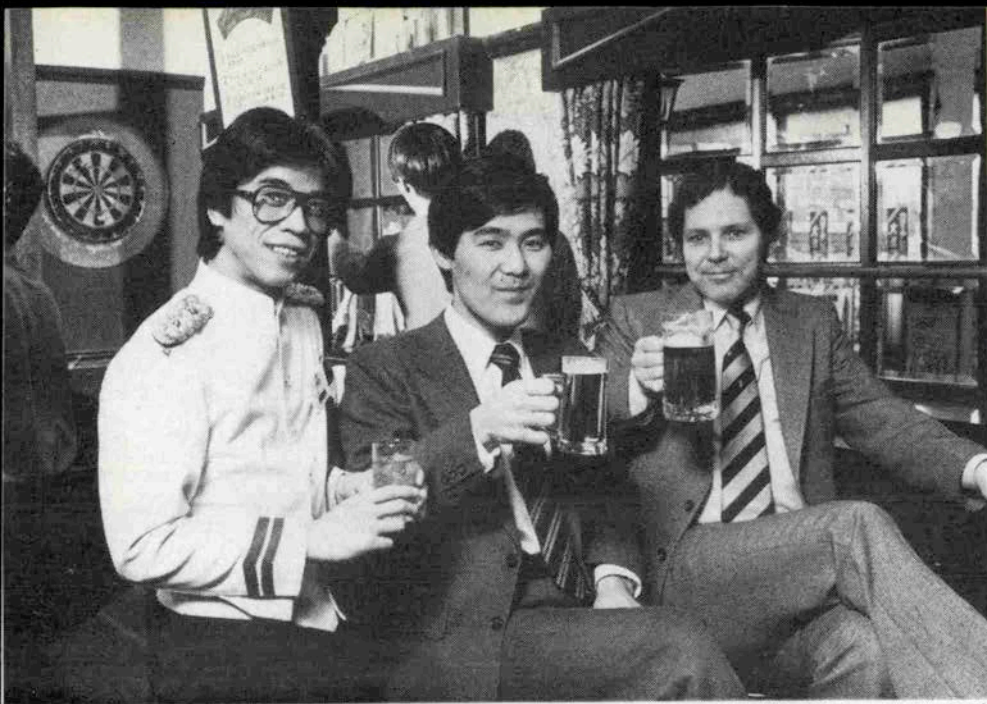
岩垣 昼から夕方にかけては、やはり学生の方ですね。そのあとは会社帰りの方とか、ここで待ちあわせるカップルとか、若い方がグループで来られることが多いです。岩屋 軽い食事も出来ますね。

岩垣 ピラフのようなものがよく出ます。また時節がら、おでんに人気が集まっているようです。岩屋 とても値段が安いんですね。

岩垣 サラリーマンの方々が、お小遣いでタバコを買う、週刊誌を買う、そんな感覚で楽しんでいただければと思っています。ところで、英国のパブでは、自分のところで作ったビールを出す

店が多いと聞きますが。ハウエル そのとおりです。各店が昔からの伝統の製造法で作っています。最近ではガスを抜いたビールも多く、純粹にビールの味が楽しめる、通の人に好評です。

岩垣 よく外国の方が、私がビー



●お酒は世界を結ぶ

ルを入れると泡が多いと言われるのですが、むしろではガスを抜いたビールが多いので、泡もたないというわけですね。どうも私もはビールに泡がないものたりなく感じるのですが。(笑)

岩垣 それにしても、男はどうして酒を飲むのでしょうか。嬉しいにつけ、悲しいにつけ。
ハウエル 飲むのに特別な理由はいらないのじゃないでしょうか。
友人の結婚式だからとか、赤ちゃんが生まれたからとかは、単なる口実のような気がしますね。

男どうし陽気に、飲み、遊び、話そうじゃないか。HUBは気軽なコミュニケーションの広場。ブリティッシュムードの中でビール片手に愉快的な会話が飛びかう。右からエバンス・ハウエルさん、岩屋利昭さん、岩垣敬介さん。

男の装い・男の愉しみ

GENT HOUSE
MEET THE CONTEMPORARY WAY
OF REAL DANDYISM
SANNOMIYA, KOBE

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5番16号

☎078(391)7851

営業時間AM10:00~PM7:00

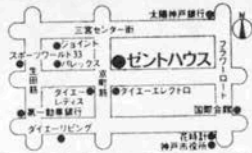
イングランドパブ“HUB”

営業時間AM8:00~PM11:00

シェーズライフブザ

ビッグウオーカー

営業時間AM10:00~PM7:00



岩屋 まったく同感です。好きだから飲む。それでいいんじゃないですか、ねえ。
ハウエル それから、のどが乾いた場合とね。(笑)
岩屋 私は北欧にしばらくいたのですが、むしろのパブにいくと、まったく見知らぬ人といつのまにか友だちになっている。言葉が通じなくても、なんとなく暖い気持ち伝わってくるんですね。こんな場所が日本にもあればいいなと思って矢先、三宮にこのような店が出来、とても嬉しいです。
ハウエル パブではみんなが愉快地飲んで遊んで話します。気軽なコミュニケーションの広場なんです。国籍なんか関係ないです。岩屋 お酒は世界を結ぶんですよ。では「乾杯！」



音楽

★新 幸四郎とともに……

松本幸四郎初リサイタル
2月7日(日) ①12時 ②4時 神戸国際会館 S・6000円 A・5000円 B・4000円

昨年10月、東京・歌舞伎座で襲名興行を開いた染五郎改メ九代目松本幸四郎。歌舞伎界の名跡を継ぐ幸四郎は「名前は変わっても、私自身が変わりはありません。歌舞伎役者としての精進はもちろん、大好きな音楽を中心にした活動も新たな気持ちでとりこんでいきたい」と話している。ステ



九代目幸四郎

ージは第一部に長唄を伴奏にしてみたい舞を献付、はかまの素の姿で踊り、第二部に染五郎時代の思い出の曲数曲とリサイタルのための新曲を披露する二時間となる。

★第32回あじさい音楽会

ブラハ弦楽四重奏団

2月9日(火) 7時 神戸文化ホール A・3000円 B・2550円 C・2000円

チエコスロバキアは、室内楽のすぐれた伝統をもちスメタナ四重奏団、ヤナーチェク四重奏団とともに国際的に名声の高い楽団のひとつ。ブラハ弦楽四重奏団が来日。室内楽の至宝を披露するが、本誌主催のブルーメール賞の第一回受賞者で



田原 富子

あるピアニスト、田原富子さんが参加し、シユーマンのピアノ五重奏曲変ホ長調作品44を演奏する。田原さんは、際立った技術に裏打ちされた音楽性と強烈な個性、多様なレパートリーによって関西で最も忙しいピアニストの一人。

ブラハ弦楽四重奏団第一バイオリン/プレティスラフ・ノヴォトニー
第二バイオリン/カレル・ブジビル
チェロ/ヤン・シルツ ヴィオラ/リュボミール・マリ

演奏曲目Ⅱハイドン/弦楽四重奏曲第4番変ロ長調作品76-4「日の出」
ベートーベン/弦楽四重奏曲第9番「長調作品59-3」ラズモフスキー

★ジャズ界に美女もう一人

神戸でその歌唱力を披露最近の女性ジャズ歌手は美人が多い。その美女がまた一人加わった。CBSソ

ニーから「ファリスト・ラブのように」でデビューしたマリリンで、フイリピン出身の21才。このマリリンが去年のクリスマス・キャベンハンを兼ねて神戸のライブハウスに現われた。



ソネで歌うマリリン

江藤嘉昭のハウスバンドをバックにゴキゲンなノリで4ビート、8ビート、バラードと何でもこなした多様な側面をもつマリリンの「大さき」をみせた。



スポーツ

★スキー場ロツジで

デキシール・パーティ

3月20日(土) 22日(祝) 2泊3日 飛騨・流葉スキー場 会費・29000円

神戸デキシールランドジャ

ズ協会では、春の雪山を会場に第19回例会を開催する計画。会員以外の参加も募っている。

飛騨地方最大の規模を誇るスキー場、流葉スキー場で、昼はスキー、夜はリバーサイド・ランブラーズ、メインストリウム5などのデキシールを楽しもうという企画で、今回で2回目。3月20日午後12時に貸切バスで神戸を立ち、翌日スキーのレッスンをジャズパーティ、22日夜に神戸着という行程のハッピー・ツアー。問い合わせは流葉アルペンスキースクール事務所(神戸市東灘区甲南町3番452-17651)



美術

★第2回神戸二紀女流新人展各賞決まる

隔年で行われる神戸二紀女流新人展が昨年12月8日から13日まで生田神社社会館で開かれた。今回は150点の応募があり、78点が入賞。初日の夜、同会館にて各賞受賞者の表彰式と懇親会がもたれ、中西勝二紀会

兵庫県支部長から新人へ熱のこもった激励があった。

△神戸二紀文流新入展覧会 狭間由美子
△兵庫県知事賞 山崎昌大 神戸市長賞 近石春江 △兵庫県教育委員会賞 村山文子 △神戸市教育委員会賞 吉岡和子 △神戸新聞社賞 永井節子 △生田神社賞 池田敬久 △神戸子賞 前田美枝 △佳作賞 浅羽珠子 △奨励賞 知念寛子・池原映子

★第4回ジャパンエンバ美術コンクール入賞者決定

現代美術の発展と新人の発掘顕彰を願って催している「ジャパンエンバ美術コ



音楽

★岸田智史

2日(火) 6時半 神戸文化ホール A・2700円 B・2400円

★西神戸混声合唱団

7日(日) 2時半 神戸文化ホール 4500円

★松本幸四郎とともに

7日(日) ①12時 ②4時 神戸国際会館 S・6000円 A・5000円 B・4000円

★ブラハ弦楽四重奏団

9日(火) 7時 神戸文化ホール A・3000円 B・2500円 C・2000円

★ピアノ・田原富子

9日(火) 10日(水) 6時半 神戸文化ホール S・5000円 S・5000円 S・4000円 A・3000円 B・2000円

★ザ・ヴィーナス

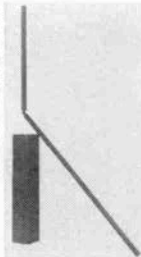
12日(金) 6時半 神戸文化ホール S・2400円 A・2000円 B・1700円

★チャゲ&飛鳥

18日(木) 6時半 神戸文化ホール

ンクール」の第4回審査結果が発表された。出品総数718点の中から小倉忠夫、河北倫明、木村重信、中原佑介、針生一郎の各氏が選んだ入選者は次のとおり。

大賞△エンバ賞△鈴木隆(東京都) △優秀賞△勝又豊子(厚木市) 花田



大賞受賞作品 鈴木隆作
「STEEL WORK 4」

ール A・2500円 B・2300円 C・2000円

★グレン・ミラー・オーケストラ

27日(土) 6時半 神戸国際会館 S・3800円 A・3000円 B・2500円

★日本音楽集団第2回神戸演奏会 28日(日) 2時 神戸文化ホール 1F・2800円 2F・2500円



古典芸能

★浄瑠璃の描く四人の女

5日(金) 6時半 神戸文化ホール 3000円

出演 吉田玉男、神代初美、花柳小三郎ほか



演劇

★俳優座「ヴェニスの商人」

12日(金) 13日(土) 16日(火) 17日(水) 6時半 15分

出演 小笠原良知、河内桃子、堀越丈史ほか

★ミュージカル「樓蘭」

勝太郎(土岐市) 松本薫(京都市) 山田彌一(名古屋) △京都国立近代美術館賞△西田洋一郎(富山県) △国立国際美術館賞△前川強(箕面市) 他、入選88点

なお、入選作は「第4回エンバ賞美術展」としてエンバ中国近代美術館で2月22日まで展示されている。

★西村功画集

「駅・人生・バリ」発刊

人間生活への執着と熱意を描き続ける西村功画伯。その作品55点を収めた画集「駅・人生・バリ」が、2月10日発刊される。おなじみのバリ

15日(月) 6時半 神戸国際会館 民音/会員・2700円 一般・3000円 出演 汀夏子、野村真樹、久保菜穂子ほか



寄席

★林家小染独演会

6日(土) 6時半 神戸文化ホール 民音/会員・1700円

★ももち寄席・恋雅亭 10日(水) 6時半 風月堂ホール 前売・1000円 当日・1200円



映画

★市民映画劇場「紋殺」

18日(木) 19日(金) 6時半 20日(土) 2時 神戸文化ホール 499円



美術

★西宮市大谷記念美術館 第7回絵本原画展 2/6/3/7

★エンバ中国近代美術館

第4回エンバ賞美術展 1/6/2/22



安井賞受賞作
「ベンチの人々」

のメトロをモチーフにした作品を中心に、昭和27年156年の作品で、オリジナル・シルクスクリーン作品1点つき、2万1千円。出版記念パーティーは、2月11日午後6時より三宮ターミナルビル4Fシヤンテ・クレールで開かれる。会費8千円。

★演翠美術館

国境展―東海・美濃

1/12/3/22

★兵庫県立近代美術館

常設展―郷土美術と版画

12/22/3/22

★ギヤラーさんちか

2/11/2/24

友墨会展

2/11/2/24

西村功展(水彩)

2/11/2/24

兵庫写壇連盟展

2/18/2/23

★さんちか広場

2/11/2/24

西村功展(油彩)

2/11/2/24

第22回神戸市小学校図工展

2/18/2/21

神戸デザイナ学院卒業制作展

2/18/2/21

★CITY GALLERY

2/22/2/24

片岡由加利・前田サトコ・伝馬三子三人展

2/6/2/20

★大丸神戸店美術画廊

2/6/2/20

神戸市姉妹都市リガ絵画展

2/6/2/20

守屋動作品展

2/4/2/9

サムホール日本画展

2/11/2/16

信州袖広瀬一展

2/18/2/23

★三越ギャラリー(神戸ポर्टピアホテル1F)

2/25/3/2

ローランサン・シャガール展

2/2/2/16

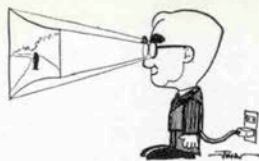
ヨーロッパ絵画展

2/17/3/17

●ふらっしゅ●ばっく●

あの話・この話

淀川 長治 (映画評論家)



池波正太郎さんとしやべっているとアリス・フェイやランドルフ・スコットなどというフィルム匂いのする俳優の名がこのひとの口から出てくるので嬉しい。この先生とは十年來のおつきあいだが、まだ一度も試写室におくれてこられたことを見たことがない。

X

武満徹先生とこのあいだ生まれて初めてお逢いした。すると「四谷怪談」の音楽をあなたにほめられたのを忘れませんと申された。これは昭和四〇年の豊田四郎監督作品である。岡田茉莉子のお岩で、伊右衛門は仲代であった。十六年前のはなしである。おそれ入る。

ところでもうひとつ。ジョン・フォード監督の「ハリケーン」(一九三七)のラスト・シーンだけはパーッとあざやかなカラーになりましたねと、つくづくそのシーンの美しさをほめられたが、これはカラーではない、すべてがモノクロでとおしている。武満さんは五十年ちかく、「ハリケーン」のラスト・シーンだけはカラーと信じきっておられたことの、その夢を、私は五十年ちかくたってからお気の毒にもムザンに破ってしまったのであった。

X

一九八一年の十月九日から十二月二十日までニューヨークでは黒沢明の二十六本の映画を英語スーパーツキで長期上映した。ニューヨーク・タイムズ紙は大きく頁をさいて黒沢へのインタヴューを二頁にわたって載せている。インタヴューの記者を一番おどろかせたことは

七十一歳の黒沢監督が「僕はすくなくともあと四本か五本はとりたいですね」と云ったことだった。ニューヨークに出かけるまえ私にも彼はほんとうにそう云っていた。

このニューヨークで彼はいちにち「真夜中のパーティー」「フレンチ・コネクション」「エクソシスト」のフリードキン監督の家に招待されたのだが、その夜は「エデンの東」のエリア・カザン、「俺たちに明日はない」のアサ・ペン、このほかシドニー・ルメット、マーチン・スコセージ、ノーマン・メラーその他評論家や詩人たちが集まったそうで、その夜のパーティーの写真を黒沢監督のアシスタントの野上照代さんが私に数枚送ってくださいだったのでそのうちの三枚をここにお見せしよう。

X

ところで一九八一年にすでに八十二歳という古老監督ジョージ・キューカー(「マイ・フェア・レディ」)がなんと「リッチ・アンド・フェイマス」というキャンディ・バーゲンとジャックリン・ビセット共演映画を完成封切した。二人の女ともだちがやがて一人は富豪夫人もうひとりにはベスト・セラーの流行作家になるというこの脚本はかつてミリアム・ホプキンスとベティ・デヴィスが一九四三年に共演した「旧友」(オールド・アクウェンタンス)。その再映画化。

X

アン・ミラー(六十二歳)とミッキー・ルーニー(六十一歳)共演のブロードウェイのミュージカル舞台劇「シユガー・ベイビーズ」がまだロングランをつづけている。



黒沢が自分の大きな写真にサイン。その写真を持ち上げているのがコッポラ監督。



左よりフリードキン、エリア・カザンそして黒沢監督。



フリードキンが、黒沢にあたまを下げて挨拶。

ところがキャサリン・ヘップバーン（七十二歳）がブロードウェイのバリモア劇場で「ウエスト・サイド・ワルツ」という芝居に主演する。彼女はつい最近ヘンリー・フォンダ（七十六歳）と「オン・ゴールデン・ポイント」（マーク・ライデル監督）という映画に共演したばかり。

アメリカは老いてもこのように主役が廻ってくるのである。バンジュンさんの見事な主演映画を彼の死ぬまでに誰もが作っていないことが恥づかしい。

×

もうひとつ加えると、八十二歳のジェームズ・キャグニイが、「カッコーの巣の上で」「ヘアー」のミロス・フォアマン監督の新作「ラグタイム」に十数年ぶりにカムバックして主演している。

×

西ドイツ映画の「U・ボート」（一九八一年作）を見た。あちらではすでに十本以上の監督作品を手がけたヴォルフガング・ペーターゼン監督（四〇歳）の新作二時間十五分。

U・ボートのUとはアンダー・シー・ボートの頭文字^{わしら}のU。

第二次大戦中のドイツ潜水艦の悲劇的な活躍。乗組員は艦長の三〇歳のほかは二〇歳代の若者ばかり。全員四

十三名。日本もドイツも同じような悲劇を戦争で経験したことがあらためて肌に寒い。
U・ボートといえばドイツ・ウーファ社が一九三二年（昭和七年）に製作したグスタフ・ウツツキー監督、ルドルフ・フォルスター主演の「朝やけ」（モルゲンロツト）が忘れられない。



U・ボート